

プログラム

第1日目 2026年9月14日(月)

会場：北海道大学 学術交流会館

12:30～13:00	開場・受付（発表者は発表データを提出）	ページ
13:00～	司会進行 橘 淳一 大会実行委員（姫路市役所） 開会挨拶・事務連絡 柳川洋二郎 大会長（北海道大学大学院獣医学研究院）	
13:04～	研究進捗発表（口頭2題） 座長：對馬隆介（北海道大学大学院獣医学院）	
13:05～13:25	O-01 ポルネオオランウータンにおける血中および糞中の性ホルモンのモニタリング 千葉友章（いしかわ動物園）ほか	8
13:25～13:45	O-02 ワオキツネザルにおける GnRH ワクチンによる繁殖抑制効果の検討 鷹羽理乃（宇部市ときわ動物園）ほか	9
13:45～13:59	休憩	
13:59～	研究進捗発表（口頭2題） 座長：加古智哉（名古屋港水族館）	
14:00～14:20	O-03 着床促進ペプチド創薬の開発による野生動物保全繁殖への応用可能性 池田幸樹（京都大学高等研究院 物質-細胞統合システム拠点）ほか	10
14:20～14:40	O-04 飼育下ニホンライチョウの産卵開始時期に影響を与える環境要因 斉藤真子（岐阜大学大学院連合農学研究科）ほか	11
14:40～14:50	休憩	
14:50～15:50	特別講演 座長：柳川洋二郎（北海道大学大学院獣医学研究院） 飼育技術は保全と研究をどう支えるのか？ 本田直也（一般社団法人野生生物生息域外保全センター）	32
15:50～16:05	総会 橘 淳一 研究会副会長（姫路市役所） 中川大輔 研究会会長（神戸どうぶつ王国） 江崎幸子 研究会事務局長（神戸どうぶつ王国） 中田 都 研究会監事（鯖江市役所 鳥獣害のない里づくり推進センター）ほか	
16:05～16:15	記念撮影	
16:15～17:15	ポスター発表（コアタイム）	17

（当日の進行状況によりスケジュールに変更が生じる場合があります）

第2日目 2026年9月15日(火)

会場：北海道大学 学術交流会館（午前）

札幌市円山動物園，おたる水族館，一般社団法人野生生物生息域外保全センター（午後）

9:50～10:20	受付（2日目からの参加者のみ），ポスター発表（閲覧のみ）	ページ
10:20～10:24	司会進行 橘 淳一 大会実行委員（姫路市役所）	
10:24～	研究進捗発表（口頭2題） 座長：柏木伸幸（かごしま水族館）	
10:25～10:45	O-05 飼育下アムールヒョウにおける糞中の性ホルモン代謝物濃度動態を指標とした発情期，発情周期，発情行動および妊娠の把握 菅 里美（福山市立動物園）ほか	12
10:45～11:05	O-06 環境省ツシマヤマネコ野生順化ステーションにおけるツシマヤマネコの繁殖の取組について 井戸優海（NPO 法人どうぶつたちの病院／環境省ツシマヤマネコ野生順化ステーション）ほか	13
11:05～11:19	休憩	
11:19～	研究進捗発表（口頭3題） 座長：堀田紗代（豊橋総合動植物公園）	
11:20～11:40	O-07 雌アジアゾウ (<i>Elephas maximus</i>) における発情周期に伴う血中ステロイドホルモン動態の再評価 片桐有乃（北海道大学大学院獣医学院）ほか	15
11:40～12:00	O-08 アフリカゾウにおける性ホルモンおよび LH 濃度動態に基づく偽発情と発情・排卵に伴う膣前庭粘膜面の肉眼的変化 楠田哲士（岐阜大学応用生物科学部）ほか	16
12:00～12:10	O-09 （話題提供）CG イムノクロマトキット（Dual Checker）を活用した非侵襲的なコモンマーモセット性周期管理 對馬隆介（北海道大学大学院獣医学院／宇部市ときわ動物園）	
12:10～	閉会挨拶 中川大輔 研究会会長（神戸どうぶつ王国） 事務連絡 柳川洋二郎 大会長（北海道大学大学院獣医学研究院 准教授）	
午後	各自移動，昼食	
	施設見学 札幌市円山動物園，おたる水族館， 一般社団法人野生生物生息域外保全センター	

（当日の進行状況によりスケジュールに変更が生じる場合があります）

ポスター発表リスト (17 題)

会場：北海道大学 学術交流会館

コアタイム 1 日目 2026 年 9 月 14 日 16:15～17:15 休憩時間中や 2 日目の口頭発表 開始前等にも ご覧ください	P-01 動物園水族館繁殖研究アライアンスの活動報告（2025 年度） 尾形光昭（横浜市立よこはま動物園繁殖センター／動物園水族館繁殖研究アライアンス）ほか	17
	P-02 雌ヒガシクロサイ (<i>Diceros bicornis michaeli</i>) の血中プロジェステロン濃度測定における電気化学発光免疫測定法と高速液体クロマトグラフィー・トリプル四重極質量分析法の比較およびその推移に基づく雌雄同居 福島志織（横浜市立よこはま動物園）ほか	18
	P-03 排卵遅延を疑い排卵誘起処置を実施し妊娠・出産に至ったジャガーの一例 中山晃子（愛媛県立とべ動物園）ほか	18
	P-04 外因性性腺刺激ホルモン製剤投与によるツシマヤマネコの卵胞発育・排卵誘起 18 例の状況 若原愛結（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）ほか	19
	P-05 ネコ科動物における妊娠検査薬の開発にむけた妊娠期の糞中プロジェステロンおよびプロスタグランジン F_{2α}代謝物の簡易抽出法の確立 沼本紘幸（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）ほか	20
	P-06 ネコ科動物の妊娠検査におけるイヌ用プロジェステロンイムノクロマトキットの転用可否の検討 沼本紘幸（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）ほか	21
	P-07 ゲノム・PMx 統合解析に基づくツシマヤマネコ保全に向けた遺伝的多様性維持手法の開発 中川大輔（京都市動物園）ほか	22
	P-08 雌ジャイアントパンダにおける尿中 E₁G 動態と活動時間および糞量の関係：繁殖状態の違いによる経年比較 佐野宙矢（東京動物園協会野生生物保全センター）ほか	23
	P-09 末梢血遺伝子発現の比較からヒグマ・ホッキョクグマの妊娠判定は可能か 西島明日香（北海道大学大学院環境科学院）ほか	23
	P-10 雌コツメカワウソの膣スミアにおける膣粘膜上皮細胞比率の変化 宮側賀美（海遊館）ほか	24
	P-11 チンパンジーおよびボルネオオランウータンにおける排卵と妊娠に伴う尿中ホルモン代謝物濃度動態とヒト用簡易検査薬の転用可否 田中麻生（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）ほか	25
	P-12 スマトラオランウータン精子における液状保存および凍結保存方法の検討 對馬隆介（北海道大学大学院獣医学院／宇部市ときわ動物園）ほか	26
	P-13 バンドウイルカの繁殖管理を目的とした <i>Slc38a4</i> 遺伝子発現の経時的解析の一例 野田義博（東京科学大学）ほか	27
	P-14 飼育下ヒクイドリの産卵に伴う雌雄の糞中性ステロイドホルモン代謝物濃度の変動 中嶋慧介（東武動物公園）ほか	28

	P-15 雄ニホンライチョウにおける糞中アンドロジェン濃度動態からみた照明条件が精子生産に与える影響 齊藤真子（岐阜大学大学院連合農学研究科）ほか	29
	P-16 飼育下ニホンライチョウにおける卵の受精率，孵化率および雛の生存率に影響を与える要因の検討 金原弘武（岐阜大学大学院連合農学研究科／多摩動物公園）	30
	P-17 飼育下ルリコンゴウインコの雌1羽における繁殖生理状態と換羽状況 福井 杏（岐阜大学大学院連合農学研究科）	31

■ 口頭発表者への連絡事項

- 研究発表は質疑応答を含め、1 題 19 分間です。目安は発表時間 15 分以内、質疑応答 4 分以内ですが、19 分間以内で質疑応答の時間を長めに設定することも可能です。また、全体の発表時間は 19 分間より短くても問題ありません。全体として進行を早めます。
- タイムキーパーが予鈴を鳴らし、残り時間をお知らせします。

1 鈴 : 14 分, 2 鈴 : 15 分, 3 鈴 : 19 分

■ 北海道大学 学術交流会館へのアクセス

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s01/access/#access01>



- JR をご利用の場合

JR「札幌駅」下車 徒歩 7 分

- 地下鉄をご利用の場合

市営交通・地下鉄南北線

「さっぽろ駅」下車 徒歩 8 分

「北 12 条駅」下車 徒歩 7 分

※当施設には駐車場はありません。